

## 原稿の書き方

1. 原稿 原稿はA4判用紙を使用する。和文報文は、上下左右に30 mmの余白、横書き35字×25行。明朝体系のフォントを用いサイズは12ポイントとする。英文報文では、Times New Roman、12ポイント等の標準的なフォントを用い、上下左右に30 mmの余白を残して1頁25行を基本とする。編集委員長宛に原稿3部を送付するが、これに代えてPDFファイルを水産海洋学会宛に電子メール等に添付して送付してもよい。
2. 表題、要旨 和文報文は、第1頁に和文表題、和文著者名、英文表題、英文著者名、和文ランニングタイトル(30字以内)、和文所属、英文所属と英文住所、連絡先電子メールアドレス、第2頁に英文要旨(300語以内)、英文キーワード(3~6語)とする。英文報文は、第1頁に英文表題、英文著者名、英文ランニングタイトル(語間空白を含め60字以内)、英文所属と英文住所、連絡先電子メールアドレス、第2頁に英文要旨(300語以内)、英文キーワード(3~6語)、第3頁に和文表題、和文著者名、和文要旨(400字以内)、和文所属と和文住所とする。和文要旨と英文要旨とは、互いに整合していなければならない。
3. 本文 最初の1マスをあけずに書き始める。段落の変わるところは1マスあける。句読点は、「、」を使用する。数字とアルファベットは半角、片仮名は全角文字とする。本文中で文献を引用する場合には、Reeve (1970), Griffith and Linden (1981a, 1981b), あるいは(Reeve, 1970), (山田・田中, 1975), (Bailey et al., 1996; 山田ほか, 2001)とする。文献を連記する場合には、まず年代順、次に著者名のアルファベット順とする。
4. 引用文献リスト 見出しは「引用文献」とし、著者名のアルファベット順に列記する。筆頭著者が同じの場合、第二著者名のアルファベット順で並べる。それも同じ場合には、より下位の著者名を比べる。全ての著者名が同じの場合には、発行年月の古いものを上位に配置する。和文と英文の文献は区別せず、英語表記した場合のアルファベット順で並べる。

### 雑誌(例)

Chiba, S., Y. Hirota, S. Hasegawa and T. Saino (2005) North-south contrasts in decadal scale variations in lower trophic-level ecosystems in the Japan Sea. *Fish. Oceanogr.*, **14**, 401-412.

宮村和良・三ヶ尻孝文・金沢健 (2005) 2003年大分県臼杵湾沿岸に発生した有害渦鞭毛藻 *Karenia mikimotoi* 赤潮の出現特性。水産海洋研究, **20**, 25-32.

### 単行本(例)

Reeve, M.R. (1970) The biology of Chaetognatha 1. Quantitative aspects of growth and egg production in *Sagitta hispida*. In: *Marine Food Chains*, eds. J.H. Steel, Oliver & Boyd, Edinburgh, 168-189.

河村知彦・高見秀輝 (2005) アワビ類の生態と加入量変動。「海の生物資源 生命は海でどう変動しているか」渡邊良朗編, 東海大学出版会, 秦野. 286-303.

酒井均・松久幸敬 (2003) 「安定同位体地球科学」。東京大学出版会, 東京, 403 pp.

Sverdrup, H.U., M.W. Johnson and R.H. Fleming (1942) *The Oceans: Their Physics, Chemistry and General Biology*. Prentice-Hall, Englewood Cliffs, N. J., 1087 pp.

### 報告書(巻号のないものの例)

森本晴之・井口直樹 (2006) 流出油が沖合生態系に及ぼす長期的影響の解明・漁場生産力変動評価・予測調査報告書 (平成 17 年度), 水産総合研究センター, 77-92.

5. 図・表 図および表は本文とは別葉とし, A4 判 1 枚に 1 図 (あるいは 1 表) を作成する. 図および表の説明文は原著論文および寄稿では英文で, 他では和文とする. 図の説明は全部をまとめて別葉とし, 表の説明は表の上部に記述する. 図の原稿は, 用紙の隅に著者名と図番号を記入する. 原著論文および寄稿では, 図・表は和文・英文ともに, 本文中では (Fig. 2), (Table 3) のように, 説明文では Figure 2, Table 3 と表す. それ以外の原稿では, 図 1, 表 2 などと表す.
- 図は, カラー印刷を希望する場合以外は黒色で鮮明に作成する. 刷り上がりの図の印刷幅は 7-8 cm, または 14-15 cm となるので, 明瞭に印刷されるようレイアウトや文字の大きさに十分に配慮する. 図中の記号を図説明文中に入れることは避ける. 表は, 1 印刷面に収まるように組む. 特別の場合も見開きページ内に収まるようにし, 折り込みページとならないようにする.

6. 単位および記号 単位の記載においては SI 単位を尊重し, 単位記号はローマンを原則とする. また, 変数, パラメータ, 統計量はイタリックとする. 速度等の表示は指数を用い, cm/s の形式は用いない.

[例] 長さ・面積・容積: nm ( $\mu$ は不可),  $\mu\text{m}$  ( $\mu$ は不可), mm, cm, m, km;  $\text{mm}^2$ ,  $\text{cm}^2$ ,  $\text{m}^2$ ,  
 $\mu\text{l}$ , ml, l, kl,  $\text{mm}^3$ ,  $\text{cm}^3$ ,  $\text{m}^3$   
質量, 重量:  $\mu\text{g}$ , mg, g, kg, t  
時間: s, min, h, day, month, yr あるいは秒, 分, 時間, 日, ヶ月, 年  
速度:  $\text{cm}\cdot\text{s}^{-1}$ ,  $\text{m}\cdot\text{s}^{-1}$ , kt (ノット)

7. 生物名 和文原稿中では標準和名はカタカナで書き, 一般的な名前はあるだけひらがなで書く. 標準和名が最初に出たところで学名をイタリックで続ける. 学名には分類学上の混乱が生じない限り命名者を付けない.

[例] マイワシ, マアジ, マサバ  
いわし類, あじ・さば漁業

8. そのほか, 原稿の書き方の詳細については, 「水産海洋研究」最新号の論文等を参照のこと.